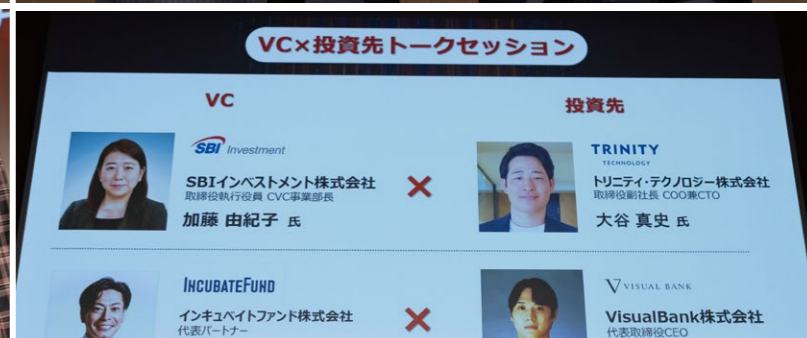
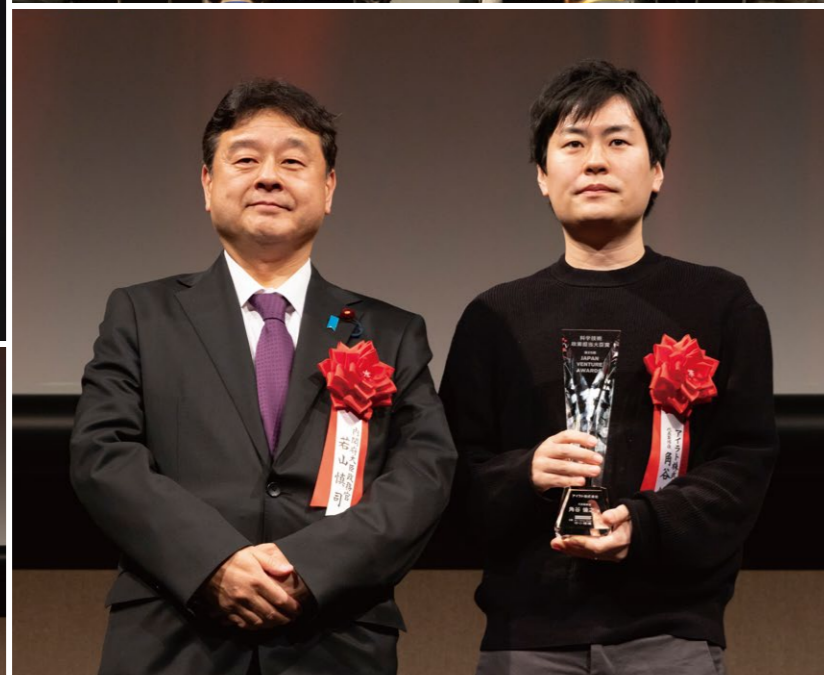




第25回
**JAPAN
 VENTURE
 AWARDS**

スタートアップの挑戦が、
 ビジネス アップグレード
 世界を上昇させる。

表彰式レポート
2025.12.18thu. 【開演】13:15～／表彰セレモニー 15:40～
 【会場】虎ノ門ヒルズフォーラム5F



スタートアップの挑戦が、 世界を上昇させる。

Japan Venture Awardsは、

革新的かつ潜在成長力の高い事業や、
社会的課題の解決に資する事業を行う、

志の高いスタートアップの経営者を称える表彰制度です。

2000年以来、376者のスタートアップ経営者等が受賞し、
それぞれの事業とともに

日本を支えるリーダーへと成長を遂げています。

次なる日本のリーダーとして果敢に挑戦する起業家を、
ロールモデルとして広く紹介することで、

創業機運を高め、日本における創業の促進を図ります。

表彰名

経済産業大臣賞

事業内容、活動実績、経営者の資質や社会的な評価(貢献度)などを総合的に評価の上、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者。

科学技術政策担当大臣賞

社会的な課題の解決に向けて、革新性に優れた科学技術などを基に、
将来の社会や産業にイノベーションを起こす可能性を持つ、他の企業の模範として相応しい極めて優秀な経営者。

中小企業庁長官賞

事業内容、活動実績、経営者の資質などを総合的に評価して、特に優秀な経営者。

中小機構理事長賞

優秀な事例のうち、公的支援策などを有効活用した模範的な事例となる経営者。

SDGs特別賞

優秀な事例のうち、特にSDGsに貢献する事業を行う模範的な事例となる経営者(インパクトスタートアップ等)。

地域貢献特別賞

優秀な事例のうち、地域経済の活性化や地域課題の解決に貢献する事業を行う模範的な事例となる経営者(ローカル・ゼブラ等)。

JVA審査委員会特別賞

上記以外で、事業その他の特徴と経営者を総合的に評価して、特別表彰を行う。

JVCA特別奨励賞

上記以外で、創業後5年以内の将来更なる活躍が期待される経営者。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

活動内容、活動実績、イノベーションへの貢献度、社会への貢献度などを総合的に評価の上、
今後の活躍が期待されるベンチャーキャピタリスト(事業会社の投資担当者を含む)。

第25回 Japan Venture Awards

▶ 応募対象

創業後概ね15年以内^{*1}であり、高い志を持ち、自立する中小企業など^{*2}の経営者又は代表者

*1 社歴に関わらず、経営の多角化や事業転換により、新事業展開した場合を含む。 *2 企業を主な対象といたしますが、NPO法人、LLC(合同会社)などの応募も可とします。
※過去にJVAを受賞された方は、ご応募いただけません。

▶ 中小企業について

募集対象とする中小企業などは、下記のいずれかに該当する個人事業主、法人又はそれらによって構成される組織とし、
活動主体が国内にあるものとします。(中小企業基本法より)

- 製造業その他 …… 資本金3億円以下、又は常時使用する従業員が300人以下
- 卸売業 …… 資本金1億円以下、又は常時使用する従業員が100人以下
- 小売業 …… 資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が50人以下
- サービス業 …… 資本金5千万円以下、又は常時使用する従業員が100人以下

▶ 第25回応募状況

幅広い業種・社歴・年代層の経営者323者から応募

▶ 審査基準

経営者の資質、成長性、革新性、社会性、多様性について審査

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

▶ 応募対象

現在、スタートアップに対して支援を行っており、今後も継続して活動するベンチャーキャピタリスト

※直近1年間の新規上場案件における投資実績等を勘案し、ベンチャーキャピタリスト奨励賞審査委員会による推薦を合わせて実施します。

▶ 審査基準

スタートアップに対するこれまでの支援活動内容・実績、イノベーション・社会への貢献度、
多様性推進への貢献度について審査

<p>13:15 - 13:20</p>	<p>開会挨拶</p> <p>JVAは今回で25回目の開催を迎える。中小機構は、「中小企業や地域社会に多彩なサービスを提供することを通じ、豊かでうまい日本を作るために貢献すること」を基本理念として活動している。インキュベーション施設の運営やファンドへの出資に加え、近年は起業家教育支援やアクセラレーションプログラム、相談窓口事業といったソフト支援への取り組みも強化している。スタートアップと同様に、新たな課題やニーズに適時適切に対応し、今後も積極果敢にチャレンジしていく。</p> <p>▶独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事 坂本 英輔</p> 
<p>13:20 - 13:45</p>	<p>オープニングキーノート</p> <p>Space within Your Reach～宇宙を普通の場所に</p> <p>小型衛星技術の事業を推進するアクセルスペースは、宇宙を夢やロマンではなく、生活に溶け込む身近なインフラとする未来を目指している。創業から17年、多くの支援を受け東証グロス市場に上場した。日本のスタートアップとして初めてJAXAの衛星開発を受託した。来年には次世代地球観測衛星を打ち上げ、より広域な観測と多様な顧客へのサービス提供を実現する。大型衛星ではできなかったミッションも小型衛星で可能になりつつあり、時代のニーズに応じた事業進化を続けていく。大学時代に衛星開発の魅力に触れ、ここまで経営を続けてきた。Win-Winの関係を築くこと、失敗を恐れず挑戦する姿勢、そしてブレない熱意こそがスタートアップの原動力だと考えている。未来は予測するものではなく、人とともに作り上げるものであり、皆様と新たな未来を切り拓いていきたい。</p> <p>▶株式会社アクセルスペースホールディングス AXELSPACE 代表取締役 中村 友哉 氏</p> 
<p>13:45 - 14:30</p>	<p>VC×投資先トークセッション</p> <p>ベンチャーキャピタリストと投資先の経営者が一緒に登壇し、キャピタリストと起業家のパートナーシップについてトークを繰り広げました。</p> <p>▶SBIインベストメント株式会社 取締役執行役員 CVC事業部長 加藤 由紀子 氏 </p> <p>▶トリニティ・テクノロジー株式会社 TRINITY TECHNOLOGY 取締役副社長 COO兼CTO 大谷 真史 氏</p> <p>▶インキュベイトファンド株式会社 代表パートナー 和田 圭祐 氏 </p> <p>▶VisualBank株式会社 代表取締役CEO 永井 真之 氏 </p> <p>モデレーター ▶一般社団法人スタートアップエコシステム協会  代表理事 藤本 あゆみ 氏</p> 
<p>14:40 - 15:40</p>	<p>ノミネーター's ピッチ</p> <p>今回ノミネートされた起業家、ベンチャーキャピタリストが登壇し、最前線を行く意気込みを語りました。</p> 

<p>15:40 - 16:35</p>	<p>表彰セレモニー</p> <p>主催者挨拶 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 宮川 正</p> <p>JVAは、優れた起業家や今後の活躍が期待されるベンチャーキャピタリストを表彰し、全国的にチャレンジ精神を広め、創業機運を盛り上げることを目的としている。これまでに表彰された企業のうち52社がIPOを達成した。「JVAで表彰され、事業拡大に弾みがついた」との声も多い。第25回を迎えた今回は、過去最多の323名の応募があった。表彰を受けられる起業家の皆様は、環境・エネルギー、医療・ヘルスケア、DXなど、社会的課題の解決および地域経済の活性化に資する将来性のある分野で事業展開されている。今後も、JVAから素晴らしい経営者が多数輩出されることを祈念している。</p> 
	<p>表彰式 〈プレゼンター〉</p> <ul style="list-style-type: none"> □経済産業大臣賞 経済産業大臣政務官 越智 俊之 氏 □科学技術政策担当大臣賞 内閣府大臣政務官 若山 慎司 氏 □中小企業庁長官賞 中小企業庁次長 山本 和徳 氏 □中小機構理事長賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 宮川 正 □SDGs特別賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 宮川 正 □地域貢献特別賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 宮川 正 □JVA審査委員会特別賞 第25回JVA審査委員会 委員長 東出 浩教 氏 □JVCA特別奨励賞 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会 会長 郷治 友孝 氏 □ベンチャーキャピタリスト奨励賞 独立行政法人中小企業基盤整備機構 理事長 宮川 正 
	<p>来賓祝辞</p> <p>経済産業大臣政務官 越智 俊之 氏</p> <p>日本経済はデフレ・コストカット型経済から、その先にある新たな成長型経済に移行する分岐点にある。強い経済を実現するにあたり中核を担うのは、スタートアップが創り出す新たなサービスや商品である。受賞者には、今回の受賞を更なる飛躍のきっかけとし、日本経済を牽引する企業へ成長することを期待する。経済産業省は、今後も革新的で成長力のある企業を生み出すべく、官民一体でのスタートアップ支援の強化を検討していく。</p> 
	<p>内閣府大臣政務官 若山 慎司 氏</p> <p>今回の受賞企業の技術は、がんの放射線治療に革新をもたらす大変意義深いものであり、速やかな社会実装を願ってやまない。この表彰を契機として、革新的技術をベースとしたスタートアップによる意欲的な挑戦が一層拡大することを期待している。</p> 
	<p>受賞スピーチ</p> <p>SPACECOOL株式会社 末光 真大 氏</p> <p>この度は、栄えある賞をいただき誠にありがとうございます。非常に驚いております。私が現在のフィルム開発をはじめたのは2017年でした。そこから色々な方に導かれながら、ここまで成長でき感激している。この賞に恥じないよう模範となれる企業に成長していきたい。</p> 
	<p>アイラト株式会社 角谷 倫之 氏</p> <p>このような名誉ある賞をいただけてビックリしております。我々は、ガン患者の方々にAIを使った放射線治療をずっとやってきた。これからもガン患者の方を少しでも救えるような革新的な技術を開発していき、社会に貢献したい。</p> 
	<p>審査講評</p> <p>第25回JVA審査委員会委員長 東出 浩教 氏</p> <p>VC奨励賞受賞のお二人は、長い時間をかけてスタートアップに伴走支援し、価値をつくりつけている。起業家の方々の応募は、年々増えてきている。「人間の価値」と「時間の価値」を高められる企業が、求められていると感じた。今回受賞された方々それぞれ、より良い社会をつくることに貢献できている。皆様と新しい価値をエンジョイしていく社会を世界に向けて発信していきたい。</p> 

受賞者

第25回
JAPAN
VENTURE
AWARDS



経済産業大臣賞

末光 真大氏
SPACECOOL株式会社
代表取締役CEO 兼 CTO

中小企業庁長官賞

高橋 亮祐氏
株式会社Acompany
代表取締役CEO

中小機構理事長賞

佐藤 太紀氏
TopoLogic株式会社
代表取締役

SDGs特別賞

岩井 順子氏
ストーリーライン株式会社
代表取締役CEO/CDO

地域貢献特別賞

大西 洋氏
株式会社フツパー
代表取締役兼CEO

JVA審査委員会特別賞

入江 雄介氏
コクー株式会社
代表取締役CEO

JVA審査委員会特別賞

田 真茂氏
株式会社ドクターズプライム
代表取締役

JVCA特別奨励賞

平井 翔大氏
Letara株式会社
代表取締役 Co-CEO

ベンチャーキャピタリスト奨励賞

河野 純一郎氏
ANRI
General Partner

水本 尚宏氏
アント・イノベーションズ株式会社
代表取締役社長
東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
フェロー

**科学技術
政策担当大臣賞**

角谷 倫之氏
アイラト株式会社
代表取締役

中小企業庁長官賞

三輪 謙二郎氏
レンティオ株式会社
代表取締役社長

中小機構理事長賞

佐藤 亨氏
ソニア・セラピューティクス株式会社
代表取締役社長兼CEO

SDGs特別賞

深井 喜翔氏
KAPOK JAPAN株式会社
代表取締役社長

地域貢献特別賞

今 啓亮氏
マルゴト株式会社
取締役・ファウンダー

JVA審査委員会特別賞

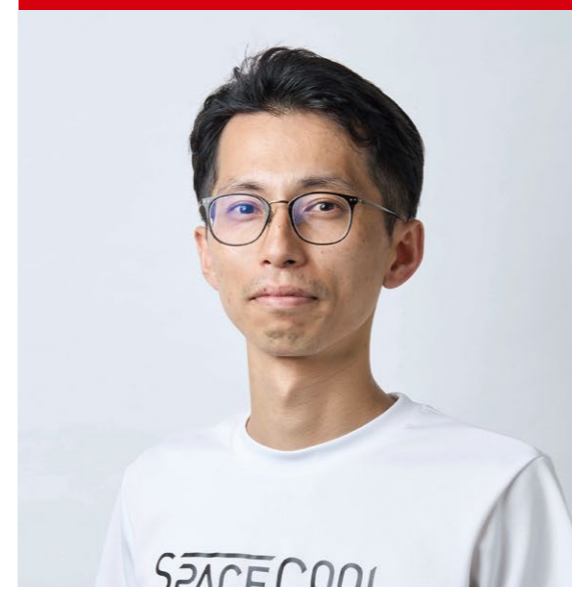
片桐 萌絵氏
とらでいっしゅ株式会社
代表取締役

JVA審査委員会特別賞

平井 瑛氏
株式会社estie
代表取締役

電力を使わず地球を冷やす。そんな未来へ。

経済産業大臣賞



SUEMITSU MASAHIRO

末光 真大

SPACECOOL株式会社
代表取締役CEO 兼 CTO



会社の特徴

研究開発、市場開拓、ブランド戦略、バックオフィス、
各分野のプロが集う少数精鋭組織

設立5年目のスタートアップながら、毎年急速な売上成長を遂げています。これは偏に、事業拡大に必要なあらゆる分野におけるプロフェッショナルに、SPACECOOLを選んでいただけた結果だと感じています。今後も国内発クライメートテック・スタートアップとして、地球を冷やすという大きな目標に歩んでまいります。

事業・サービスの強み

世界最高レベルの放射冷却性能を持つ、
温暖化対策のゲームチェンジャー

SPACECOOLは、直射日光下で太陽光からの熱を反射し熱吸収を抑えるだけでなく、熱を赤外線に変換して宇宙に逃がし、ゼロエネルギーで外気温よりも温度低下することが可能な、世界最高レベルの放射冷却性能を持つ新素材です。高性能、高耐久、量産化成功という特長を併せ持つ、放射冷却分野をリードする存在です。

受賞ポイント

大阪ガスの研究開発から生まれた放射冷却技術の事業化を目指し設立した、カーブアウトスタートアップ。放射冷却素材「SPACECOOL」は、太陽光反射と赤外線放射の独自技術により、建物や屋外インフラに適用することで、省エネルギー、CO₂排出量削減、ヒートストレス改善を実現。フィルム1枚から、「電力をいらず地球を冷やす」という大きなビジョンと放射冷却の技術、大企業との連携や万博などでの実証等の社会実装の実績、世界へ挑戦する革新的な取組が起業家のロールモデルとして極めて高く評価された。

近年、猛暑が世界中で頻発し、冷房需要増による電力消費の押し上げ、温室効果ガス排出の加速など、地球温暖化の影響は私達の日常にますます深刻に迫っています。この課題への新たな解決策となる、日中でもゼロエネルギーで冷却できる新技術、放射冷却素材を通じて、温暖化対策のゲームチェンジャーとなるべく起業しました。

●PROFILE

[1987年生まれ]2012年大阪ガス入社。研究所で光工学の研究開発を立ち上げ、京都大学・野田進教授に師事した熱光発電の研究では、当時MITが保有していた発電効率の世界記録を大きく上回る成果を出す。博士号を取得し、その中で地球温暖化の解決に資する放射冷却素材の開発に着手。事業化のため2021年にカーブアウト型スタートアップSPACECOOLを設立。大阪ガスを退職の上、2024年より代表取締役CEO兼CTOを務める。

●座右の銘

Stick-to-itiveness

●会社所在地

〒105-6404 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー4階 ARCH内

●事業紹介

従来技術では実現できない"日中ゼロエネルギー冷却"によるエネルギー負荷削減や生産性向上を可能にする放射冷却素材、「SPACECOOL」の研究開発・販売を行う。

●創業年

2021年

●コメント

大企業で最先端の研究開発を主導し、その技術を基盤にカーブアウト起業を実現。創業後は経営と技術の双方を担い、事業を国内外で急成長させ、グローバル展開を推進。カーブアウト型スタートアップという前例の少ないスタートアップを成功させ、将来の日本のイノベーションに貢献したい。

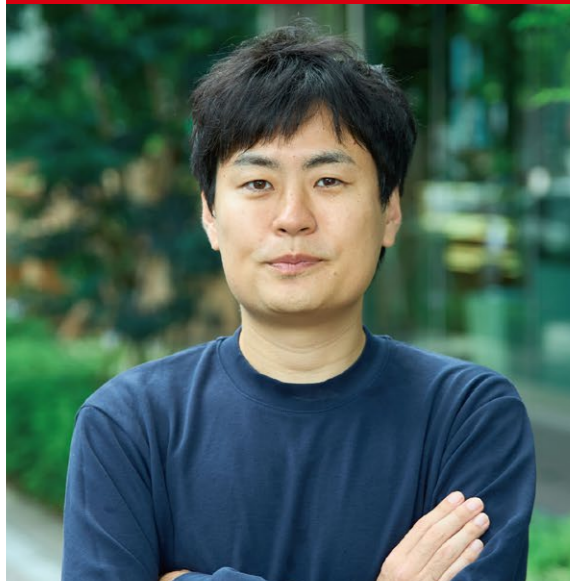


▲ 製品画像と放射冷却原理イメージ



▲ 施工済み分電盤は表面温度が低い

科学技術政策担当大臣賞



KADOYA NORIYUKI

角谷 倫之

アイラト株式会社
代表取締役



放射線治療は「切らずに治せる」重要な治療法ですが、治療計画に高度な専門性と多くの時間が必要なため、十分に患者さんへ届けられていない現状があります。私達はこの課題をAIで解決するべくRatoGuideを開発し、研究成果を現場に届ける為に起業しました。高精度な治療を多くの人に届けられる社会を実現します。

●PROFILE

[1982年生まれ] 東北大学医学部での放射線治療研究成果を活用し2022年に東北大学発スタートアップとしてアイラト株式会社を創業。がん治療×AIによって放射線治療の可能性を拡大し、世界中で「すべてのがん患者」をゼロにするというミッションの実現を目指す。病院講師として東北大学病院放射線治療科にも勤務。名古屋大学医学系研究科博士課程修了、スタンフォード大学やカリフォルニア大学デービス校での研究員・客員助教を経て現職。

●座右の銘

すぐやる、かならずやる、できるまでやる

●会社所在地

〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1 東北大学マテリアル・イノベーション・センター青葉山ガレージ内

●事業紹介

日本初の放射線治療AIスタートアップとして、AIを活用した放射線治療計画支援ソフトウェアの開発をしています。

●創業年

2022年

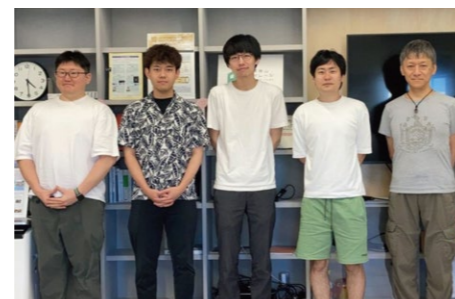
●コメント

研究開発と臨床現場、双方で20年の経験を積みました。アイラトは、この知見を凝縮した放射線治療AIで、「癌を治し、生活者として生きられる世界」を目指します。「日本から世界へ」というスローガンの下、現場のニーズと最先端技術を融合させ、事業を最後までやりきる覚悟です。私たちの技術が、世界中の癌治療を変えます。

会社の特徴

医療現場とAIをつなぎ、
高精度治療を未来へ

アイラトは東北大学発の医療AIスタートアップで、放射線治療のパフォーマンスを最大化させるソフトウェア開発をしています。医療現場の声を徹底的に反映したプロダクトの開発を実現し、医療とAIの橋渡しができるチームを強みに高精度治療を多くの患者に届けることを目指しています。

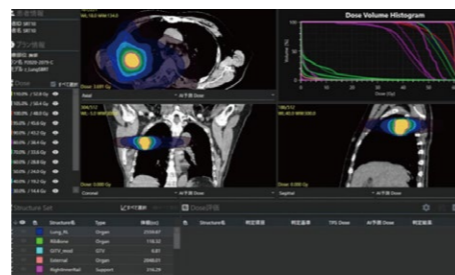


▲ アイラト社員

事業・サービスの強み

AIが治療計画を自動化し、
時間と品質を革新

放射線治療計画をAIが自動化するRatoGuideは、従来6時間かかった工程を約20分に短縮します。腫瘍抽出から照射計画まで高精度に実行し、医師の経験差によるばらつきを是正できる点が強みです。東北大学で培った研究成果と臨床データが医療品質を支え、どの病院でも高品質な治療提供に貢献します。



▲ ラトガイドの操作画面の一例

受賞ポイント

「放射線治療ですべてのがん患者を救う」をミッションに、AI医療機器で、最先端放射線治療の治療成績向上と業務負担軽減を目指す。放射線治療は、治療計画に高度な専門性と多くの時間がかかることが課題である。その解決策として、AIによる治療計画ソフトを開発・事業化。がん患者の放射線治療をAI活用で正確、効果的に実施できるようにする先端技術とグローバルな優位性を確保しつつ社会実装を進めている実績が起業家のロールモデルとして高く評価された。

中小企業庁長官賞



TAKAHASHI RYOSUKE

高橋 亮祐

株式会社Acompany
代表取締役CEO



10年かけても後悔しない事業で、世の中に大きな価値を生み出せることをやりたいと考え、大きなインパクトを狙えるテクノロジー領域への挑戦を決めました。創業から2度のピボットを経て、秘密計算の事業をスタートしました。安心と信頼のもと、データとAIをつなぎ、誰もがデータの恩恵を受けられる社会を実現します。

●PROFILE

[1993年生まれ] 名古屋大学工学部物理工学科卒業。名古屋大学在学中にエンジニアとして活動を始めたことをきっかけに、2018年6月に株式会社Acompanyを創業。ブロックチェーン事業を経て、2020年から秘密計算の実用化に注力。2022年「Forbes 30 Under 30 Asia (アジアを代表する30歳未満の30人)」へ選出。同年、業界団体「プライバシーテック協会」を設立し、会長に就任。

●座右の銘

信念を持ち、未来を創る

●会社所在地

〒451-0042 愛知県名古屋市中区那古野2丁目14番1号 などのキャンパス

●事業紹介

秘密計算に関連した製品・技術と、機密データ活用に関するコンサルティングサービスの提供

●創業年

2018年

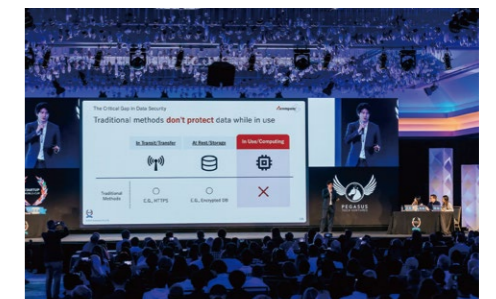
●コメント

AI時代でデータ活用の重要性が増す一方、プライバシーやセキュリティの課題が深刻です。世界的にデータ保護規制が強化される中、日本はデータセキュリティという新概念で国際ルールづくりをリードしています。この分野はグローバルで需要が伸びており、日本発の技術が選ばれる好機が到来しています。私たちは秘密計算技術でこの課題を解決し、企業が安心してデータ活用できる、信頼を前提としたデータ活用の新時代を目指します。

会社の特徴

非連続な未来を創る、圧倒的に
常識の延長線上にない領域を、技術と思想で切り拓く

「Trust. Data. AI. あらゆるデータとAI活用に、信頼を。」
企業が安心してデータを活かせるよう、「守り」と「攻め」を両立したインフラを構築し、データ活用の新たな時代の実現を目指しています。急成長市場に、技術・法律・ビジネスに卓越したメンバーがワンチームとなって取り組んでいます。



▲ スタートアップW杯世界大会

事業・サービスの強み

最新の暗号技術でデータとAIを保護する、
次世代のAIセキュリティサービス

秘密計算とはデータを暗号化したまま計算する技術です。複数組織間で機密データを活用した分析を安全に実現したり、機密データを開示せず、AI活用をすることが可能となります。AI時代において重要な機密情報の活用を「セキュリティ」や「ガバナンス」面から支援し、企業のデータ活用における信頼性と安全性を高めます。

コア技術：秘密計算 (Confidential Computing)

データを暗号化 (秘匿) したままの状態での計算を実行する技術



コア技術：秘密計算について

受賞ポイント

名古屋大学在学中に起業し、当初はブロックチェーン事業を展開。複数企業から「データを活用したいが公開は避けたい」という要望を受け、秘密計算技術に着目し、事業のピボットを決断。多様な人材を集め、事業を軌道に乗せる。今後の成長が期待される市場の中で、誰もがデータの恩恵を受けられる社会を実現するために、挑戦をしている点が評価された。

中小企業庁長官賞



MIWA KENJIRO

三輪 謙二郎

レントィオ株式会社
代表取締役社長



会社の特徴

どんなものでも買わずに
ためせるレンタルサービス

7,300種類以上のカメラや家電・ペーパー用品・アパレルなど様々な商品を買わずにためせる、家電のサブスク・レンタルサービス『Rentio(レントィオ)』の運営を行っております。WEBやスマートフォンから簡単に商品をレンタル・購入することができ、実際の使用環境でお試しいただくことができます。



▲ レントィオサイト

事業・サービスの強み

ユーザー、メーカー、環境、自社
四方良しを叶えるサービス

レントィオが提供する在庫は、自社で保有する在庫のみならず、メーカー等の商品供給者から委託を受けた在庫も含まれております。商品供給者とユーザーを結びつけるプラットフォームとしての機能を有しており、独自でレンタルを行う事業者とは異なったユニークなビジネスモデルを展開しております。

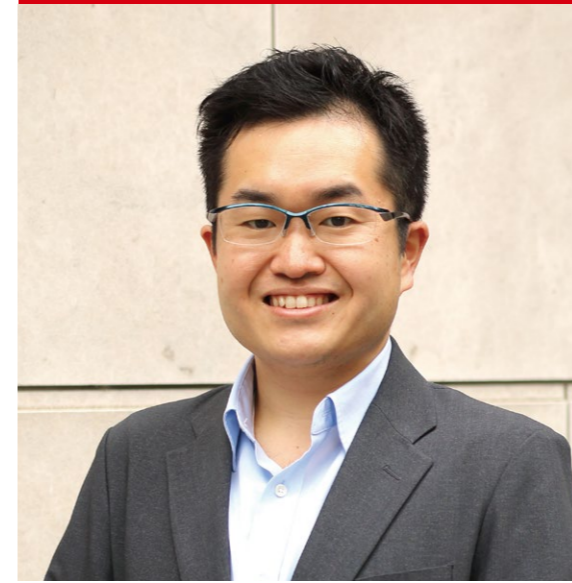


▲ 本社兼物流拠点の様子

受賞ポイント

「新しい消費行動をつくる」をミッションに掲げ、購入前に試せるレンタルサービスを提供。中核事業であるレンタルサービスを通して、製品の循環型社会の仕組みを整えることにより、環境負荷軽減にも貢献している。メーカーからの信頼が厚く、顧客満足度も高いサービスを提供しており、新しい消費の仕組みを創出している点が評価された。

中小機構理事長賞



SATO TAIKI

佐藤 太紀

TopoLogic株式会社
代表取締役



会社の特徴

幅広い分野のエキスパートが集結し、
トポロジカル物質の社会実装を目指す

TopoLogicは、研究、開発、ビジネスなど、様々な分野のエキスパートが協力し合うディープテックスタートアップ企業です。各々が自らの専門性を発揮しながら、最先端技術の社会実装に取り組み、世界中の演算課題・エネルギー課題の解決を通じて、サステナブルな世界の実現を目指しています。

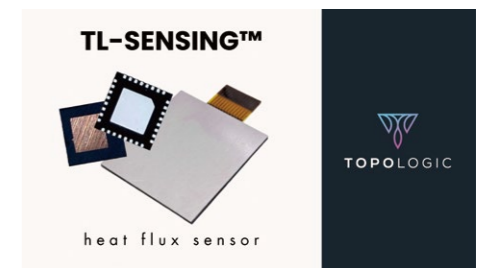
事業・サービスの強み

Materials for the future

技術シーズを基盤とした知財を戦略的に展開し、グローバル半導体サプライチェーンに組み込むことで、他社にはない独自競争力と持続可能な産業価値を創出しています。他にはない競争力を持ち、日本発の材料技術で、確固たる地位を確立することを目指しています。



▲ 磁気メモリTL-RAM測定中



▲ 熱流束センサ

受賞ポイント

東京大学発ディープテック企業として、トポロジカル物質を活用した熱流束センサーおよび磁気メモリを開発。グローバル展開に向けた積極的なアプローチを進めており、ネットワークの構築も進めている。政府系機関の支援を受け、事業を推進し、日本の半導体産業の再興を象徴する企業となることを目指すために、挑戦している点が評価された。

大学発の優れた技術が十分に世の中で活かされない現状を目の当たりにし、日本の技術シーズを社会で価値ある形に変えるスタートアップを作りたいとの思いからTopoLogicに参画しました。大学発の独自の材料技術と、様々な分野の専門家を組み合わせたチームを武器に、日本発の技術力を世界に示す企業を目指します。

●PROFILE

[1987年生まれ] 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻修士課程修了。6年間マッキンゼー・アンド・カンパニーにて製造業企業のクライアントを中心にマネジメントコンサルティングに従事。その後、産業用ドローンのスタートアップ企業にて大企業向けの共同開発や共同事業の構築を実行。2021年11月、当社代表取締役CEOに就任。経営コンサルティング及びスタートアップでの事業開発の経験を活かし、事業の垂直立ち上げを目指す。

●座右の銘

餅は餅屋

●会社所在地

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学アントレプレナープラザ703

●事業紹介

新素材・トポロジカル物質の社会実装を目指し、消費電力を大幅に削減する磁気メモリTL-RAMと発熱を高速で検知する熱流束センサTL-SENSINGを開発しています。

●創業年

2021年

●コメント

創業当初はトポロジカル物質の社会実装理論は確立されていたものの、市場適合性は未検討でした。そのため、どの産業領域で価値を発揮できるかを見極めることに注力し、電気部品や自動車、電子機器メーカーへのヒアリングやピッチイベント参加を通じ、事業仮説を迅速に検証し、短期間で累計10社以上のPoCや試作を実現してきました。国内外での実証とネットワーク拡大により、研究技術を社会実装へと押し上げていきます。

中小機構理事長賞



SATOH TOHRU

佐藤 亨

ソニア・セラピューティクス株式会社
代表取締役社長兼CEO



創業前、研究者から超音波技術と臨床データを伺った際、極めて治療が難しい膵臓がんを根本的に変えうる可能性を感じました。超音波の力で、がん患者さんご家族に“希望に満ちた新たな未来”を届けたい—その思いを原点に創業しました。難治がんに挑み、新たな治療選択肢を広げることで、その実現に取り組んでまいります。

●PROFILE

[1975年生まれ]大学卒業後、小野薬品のMRとしてキャリアを開始。MRを8年経験した後、海外事業に従事し、韓国・台湾支社を設立。台湾支社長としてオプジーボの承認・上市と販売体制の構築を主導。その後はオンコリス・バイオファーマでがん領域の知見をさらに深め、米国スタートアップでBoard Memberも兼任。2020年、東京女子医科大学の岡本淳特任准教授(当時)および東北大学の吉澤晋准教授(現教授)と共にソニアを創業。

●座右の銘

Even the longest marathon begins with a single step.

●会社所在地

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3丁目11番5号 日本橋ライフサイエンスビルディング2 803

●事業紹介

ソニアは東北大発スタートアップで、超音波技術を活用した超低侵襲がん治療の実現に向け、国産医療機器の開発と臨床試験を通じた社会実装に取り組む企業です。

●創業年

2020年

●コメント

当社は、超低侵襲がん治療を実現するため、産学で創出された技術を活用し、国産の次世代医療機器を開発しています。開発中の医療機器は、膵がんをはじめとした難治がんへの革新的治療を目指し、日本および米国で治験を進めております。また、2024年には膵がん治療を対象としてFDAよりブレイクスルーデバイス指定を取得しました。アンメットメディカルニーズに応える治療を世界へ届けるべく、研究開発を加速してまいります。

会社の特徴

医薬工連携によるディープテックの先端開発と
社会実装の調和で、世界のがん治療を変革

ソニアは、がん治療を変革するため、医工連携による技術開発に加え、がん領域の治験や事業に精通した製薬出身者を交え、各分野の能力を発揮・調和させることで、臨床試験から社会実装まで一貫して推進するディープテック企業です。日本発の医療技術で世界のがん治療を変革する—その実現を目指しています。



▲ ソニア創業メンバー

事業・サービスの強み

超音波で膵がん治療を切り拓く、
世界の先駆者

難治がんに対する超音波治療は世界的に注目を集め、開発競争が加速しています。ソニアは治療困難な膵がんをチャレンジし、膵がんを対象としたFDAブレイクスルーデバイス指定を取得、日米で治験が進行している点で競合に先行しています。この実績を基盤に、グローバルでの社会実装と事業展開をさらに加速していきます。



▲ 次世代HIFU治療装置イメージ

受賞ポイント

東京女子医大、東北大、東京医大で培った技術を基に、身体への負担が少なく、繰り返し治療できる、次世代型超音波ガイド下HIFU治療装置を開発。輸入依存の高い治療用医療機器分野でありながら、政府系アクセラレーションプログラムを複数活用しつつ、日本発の次世代HIFU技術で、世界市場で成功する新たなモデルケースを目指す点が評価された。

SDGs特別賞



IWAI JUNKO

岩井 順子

ストーリーライン株式会社
代表取締役CEO/CDO

高度成長の過程で生まれた構造的な歪みに向き合い、サステナブルな産業の仕組みを再設計するために起業いたしました。技術とデザインを融合し、市場を再定義することで、生産地の持続的な価値創出と消費者への新しい体験の両立をめざす事業づくりを進めてまいります。

●PROFILE

[1962年生まれ]ストーリーライン株式会社 代表取締役 CEO&CDO。戦略デザイナーとして国内外で新規事業・製品開発に従事後、2018年に起業。独自の脱カフェイン技術「ZEN Craft Decaf Process」を東北大学と共に開発し、健康と生産地価値を両立する「カフェインコントロール」という新しいコーヒー文化を創出しています。

●座右の銘

Design is how it works

●会社所在地

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻6-6-40 東北大学連携ビジネスインキュベータ308号室

●事業紹介

独自技術による高品質デカフェの製造と、ユーザーに最適なカフェイン摂取を実現する「カフェインコントロール」型コーヒーサービスの展開

●創業年

2018年

●コメント

社会課題を技術とビジネスで解決することを核に、新しい価値を自ら創り出す起業家として挑戦を続けています。デザインの力で本質的な課題を見抜き、独自技術の開発から事業構築までを一貫通貫で推進してきました。既存の常識にとらわれず市場を再定義し、国内外の生産者と消費者に新たな選択肢と産業の未来を切り拓くことを目指します。

STORYLINE

会社の特徴

技術とデザインで
サステナブルな価値を創る会社

当社は独自の脱カフェイン技術と市場価値のデザインを組み合わせ、コーヒー産業をサステナブルに再定義する事業を展開しております。生産地の価値向上と消費者の健康課題の双方に応える仕組みを構築し、技術とビジネスを融合した新たな産業モデルの創出に取り組んでおります。



▲ カフェインコントロール市場開拓

事業・サービスの強み

環境に優しいCO2技術で
産地と市場に新しい価値を創る

当社の強みは、人体に安全で環境負荷を抑えるクリーンな超臨界CO2脱カフェイン技術です。独自プロセスにより有効成分の損失を抑えつつ風味を保ち、カフェインを精密に制御します。産地での加工を可能にし、新たな市場価値を創出する仕組みを提供します。



▲ 独自のカフェイン抽出機構の開発

受賞ポイント

カフェインコントロールによる健康的な新しいコーヒー体験を提供し、アフリカ産地と共に発展を目指すコーヒーテック企業。東北大学と研究した超臨界二酸化炭素抽出技術を現地に移転し、コーヒーの高付加価値化や雇用創出を目指す。SDGsの「3.すべての人に健康と福祉を」「8.働きがいも経済成長も」「12. つくる責任・つかう責任」に貢献している点が評価された。

SDGs特別賞



FUKAI KISHO

深井 喜翔

KAPOK JAPAN株式会社
代表取締役社長



「サステナブルという言葉」が浸透して数年が経ちましたが、「サステナブルな選択肢」は浸透しているのでしょうか。「誰もが取り入れられるサステナブルな選択肢」そんな概念を作ることが、私たちならできると信じています。カポックという素材と日本の繊維加工技術で、その夢を実現します。

●PROFILE

[1991年生まれ]2014年慶應義塾大学卒業後、大手繊維メーカーを経て、家業である創業79年のアパレルメーカー双葉商事株式会社に入社。現在の大量生産、大量廃棄を前提としたアパレル業界に疑問を持っていたところ、2018年末、カポックと出会い運命を確信。2020年には、KAPOK KNOTの運営を軸としたKAPOK JAPAN株式会社を設立し、アトツギとスタートアップ両社の経営に参画中。

●座右の銘

正解を選ぶのではなく、選んだ道を正解にする

●会社所在地

〒565-0842 吹田市千里山東1-7-18

●事業紹介

木の実由来の新素材[カポック]を使用したファッションブランドとマテリアル事業を展開。Plant-based×Technologyで、繊維業界に革命を起こす挑戦。

●創業年

2020年

●コメント

KAPOK JAPANは、活用の難しかった繊維「カポック」を使用し、新しい素材として昇華する研究開発型マテリアルスタートアップです。創業以来、既に累計30,000枚以上の防寒着を世の中に届けてきました。これからは新しい時代のダウンのスタンダードとしてカポックが選ばれる、そんな世の中を目指して製品開発を進め、世界に誇るマテリアルカンパニーになります。

会社の特徴

木の実由来の新素材カポックと日本の加工技術で、世界の繊維の中心をもう1度日本へ

カポックを筆頭に、東南アジアに未開の素材は沢山あります。その場所に物理的に近く、繊維の加工技術も優れた日本は、世界の繊維業界の中心になりうるポテンシャルがあります。KAPOK JAPANではまずはカポックを軸に開発を行い、ゆくゆくは更なる植物由来素材で世界を変えるマテリアル事業を複数立ち上げます。



▲ KAPOKの木の実と防寒着

事業・サービスの強み

自社ブランドで迅速に市場の声を反映し、高速R&Dが可能

農園から手元に届くまでを独自にサプライチェーンを構築した、「Farm to Fashion」で独自の商品開発を実現しています。自社ブランド「KAPOK KNOT」を保有しており、R&Dでの商品を市場に投下し迅速な反映をすることができます。その実績を踏まえて、B2Bでの素材販売事業展開を進めています。



▲ 独自に構築したSCMと研究開発

受賞ポイント

老舗アパレル企業の4代目として事業に携わるなかで、環境負荷や生産国での児童労働といった業界課題に疑問を抱き、循環型素材「カポック」を活用したサステナブルブランドを創設。国内大手繊維メーカーと研究開発し、加工困難なカポックのシート状にすることで商品化に成功。SDGsの「12.つくる責任」「13.気候変動対策」「15.陸の豊かさ」に貢献している点が評価された。

地域貢献特別賞



ONISHI HIRO

大西 洋

株式会社フツパー
代表取締役兼CEO



製造業は日本のGDP2割を占める基幹産業である一方で、ほとんどの会社が人材確保に課題を感じています。大半のAI導入プロジェクトはPoC止まりで導入が進まない、地方や中小のDXを進めるパートナーがないという状況の中、全ての製造現場で使える本当に価値のあるAIサービスを展開したいと思い、創業しました。

●PROFILE

[1994年生まれ]兵庫県出身。広島大学工学部卒業。専攻テーマは製造プロセスの最適化。新卒で日東電工に入社し、ICT部門の法人営業に従事。退社後はWebサービスを開発し、イスラエルで起業を試みるも失敗。その後工場向けAI/IoTベンチャーの事業開発グループリーダーを経て、当社を設立。

●座右の銘

夫子の道は、忠恕のみ

●会社所在地

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-11-16 新大阪CSPビル北館4階

●事業紹介

AI、ソフト、ハードの各技術要素をシームレスに統合し、現場が求める「使えるAI」を提供。製造業DXをサプライチェーン全体を対象にトータルで支援いたします。

●創業年

2020年

●コメント

製造業、中小企業での実務経験、起業失敗等を経て、現在の事業に至りました。最も製造業の社数が多い大阪というエリアで、モノづくり現場のAI/IoT化に取り組んでいる点に、価値があると考えています。私のこれまでのバックグラウンド全てが今の事業に繋がっています。

会社の特徴

現場起点の「個別最適」から、「全体最適」までサプライチェーン全体の最適化を支援

各工程のボトルネックをAIで解消する「個別最適」を起点に、それらをデータでつなぎ合わせることで、製造・物流・販売といった部門間の情報の分断をなくし、モノと情報の流れをスムーズに連携。部分的な改善を積み重ねることで淀みをなくし、強靱で無駄のないサプライチェーン全体の最適化を実現します。



▲ フツパーの事業内容

事業・サービスの強み

独自技術と現場知見で AIを現場で本当に役立つ労働力に変える

最新の技術も、現場で使いこなせなければ意味がありません。私たちは「確かな労働力」となるAIを、現場の深い理解と独自技術を掛け合わせることで実用化。精度の高さと運用のしやすさを両立し、人の代わりに働き続ける頼れる「労働力」として定着させ、現場の生産性を劇的に向上させます。



▲ フツパーが提供しているAI

受賞ポイント

メーカーで工場研修や海外工場の視察に行っていた経験から、日本製造業の人手不足解決に向け、現場で使えるAIサービスを提供したいと思い、起業。「最新テクノロジーを確かな労働力に」をミッションに、誰でも簡単に導入できる仕組みを開発。地域の中小工場にも広がり、産業のDXを推進し、地域経済の持続性に貢献した点が評価された。

地域貢献特別賞



KON KEISUKE

今 啓亮

マルゴト株式会社
取締役・ファウンダー



求人媒体や人材紹介会社が増えても結局は「採用がうまくいかない」と悩む経営者は尽きません。多くの企業で採用業務が総務や代表の「兼務」で止まってしまう現状があります。この構造を変えるため、優秀な人事チームがサブスク型で代行するサービスをつくりました。各企業の本質的な採用力を高めることを大切にしています。

●PROFILE

[1986年生まれ]北海道出身。大学在学中に起業し、東京のベンチャー企業を経験後、26歳でカンボジアへ渡り人材紹介会社を創業。登録1.5万人規模まで成長させて譲渡。2015年にマルゴト株式会社を設立し、月額制採用代行「まるごと人事」を開始。これまでスタートアップを中心に500社以上の採用支援に携わる。現在は札幌を拠点に、全国のメンバーがフルリモートで働ける体制を整え、地域に関係なく活躍できる組織づくりを進めている。

●座右の銘

人生は期間限定。やりたいこと全部やる。

●会社所在地

〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西十六丁目1番地323 春野ビル3F

●事業紹介

採用支援事業・バックオフィス代行業

●創業年

2015年

●コメント

子育てをキッカケに勤務場所にとらわれず働ける環境をつくりたいと思い、完全オンラインでの事業づくりに取り組んできました。月額制の採用代行を軸に人材紹介やバックオフィス代行など、人と組織に関わるサービスを運営しています。顧客企業の成功と働き方の自由度を同時に叶える会社を目指し、200名を超える社員たちは全国40都道府県から勤務、女性比率85%のフルリモートチームになっています。

会社の特徴

社員が全国40都道府県から働く
完全フルリモートの組織

人事・経理・労務といった文系職種では、全国フルリモートの正社員組織はほとんどありませんでした。そこでフルリモートでも社員雇用を進め、女性や地方在住の方が働きやすく活躍できる職場を整えてきました。地域にいる優秀な人材が集まることで、結果的に高いサービス品質を作っています。



▲ 全国各地からフルリモートで支援

事業・サービスの強み

人と組織の課題をチームで
まるごとサポート

採用戦略の設計から、媒体運用、スカウト、面接調整、改善まで企業の採用をチームでまるごと支援します。経理や労務などのバックオフィス領域も対応できるため、成長フェーズの企業が抱えている人事・管理部門の課題を一気通貫でサポートできます。1ヶ月単位で柔軟に利用できることも強みです。

人材不足の根本解決は、採用チームのサブスク

まるごと人事

- オンラインで採用業務をすべて代行
設計・募集・スカウト
応募者対応・改善まで
- 1ヶ月ごとの定額支援
月額25万円or 45万円
実績500社以上
- 7年前は社員ゼロから社員200名以上に！
40都道府県からフルリモート社員で勤務

▲ 大事な採用業務をまるごと支援

受賞ポイント

スタートアップや成長企業向けに採用代行とバックオフィス業務を提供。同社は、「理想のサービスと理想の職場を同時実現する」を経営理念に掲げ、全員がフルリモートワークで働く職場環境を実現し、女性比率・女性管理職比率は8割以上。札幌を本社に、採用課題解消による雇用創出で地域経済の活性化に貢献している点が、評価された。

JVA審査委員会特別賞



IRIE YUSUKE

入江 雄介

コクー株式会社
代表取締役CEO



SI業界で感じた帰属意識の希薄さ。私は会社が社員を第一に考え、挑戦と成長の場を用意すれば業界は変わると信じ、起業しました。現在は私と同じ志を持つ社員と日本の労働需給ギャップという課題に挑んでいます。多様な人材がデジタルスキルを身につけ、自分らしく働ける社会を実現し日本を活性化することが私の使命です。

●PROFILE

[1979年生まれ]19歳で起業し、エンジニアやIT事業の第二創業を経て2019年にコクーを創業。「デジタルの力でD&Iがあたりまえの社会を創る」をパーパスに、労働需給ギャップに挑む。デジタル未経験の女性をリスキリングでDX人材へ育成し、企業の生産性向上を伴走支援する「DX×女性活躍推進」のエコシステムを構築。地方創生にも注力し、デジタル人材の「地産地活(ちさんちかつ)」モデルの推進を目指す。

●座右の銘

死ぬこと以外かすり傷

●会社所在地

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-29 帝国書院ビル5階

●事業紹介

社会課題を解決するDX人材サービス

●創業年

2019年

●コメント

私の強みは「理念への共感」を軸にした組織づくりです。前身時代から「社員が成長するからこそ会社も成長する」と信じ、ビジョンを共有できる仲間の採用に全力を注いできました。結果、前向きで温かいカルチャーが醸成され、850名の組織となりました。この仲間たちと共に、日本の社会課題である労働需給ギャップの解消という大きな目標に、本気で挑戦し続けています。

会社の特徴

「人材」×「デジタル」で
日本の社会課題を解決する企業

少子高齢化による労働力不足に対し、多様な人材がデジタルスキルで活躍する社会を目指します。その第一歩として女性活躍推進に取り組み、デジタル未経験の女性を正社員として雇用しDX人材へと育成。育成した人材が企業のDXを伴走支援することで生産性を向上させるエコシステムを構築し、日本経済を活性化させます。

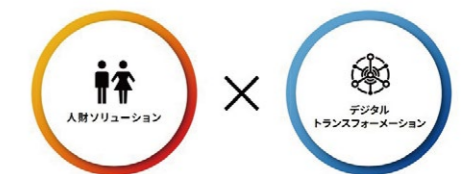


▲ DX人材として活躍する社員

事業・サービスの強み

社員の「圧倒的当事者意識」と「主体的行動」。
この文化こそがサービスの強み。

最大の強みは「人材(社員)」です。「社員一人ひとりが当事者意識を持ち、主体的に行動する」という理念と企業文化に共感する多様な社員が、高いサービス品質を生む源泉です。DX人材が、当事者意識をもってお客様の課題に取り組み、現場のDXを内側から伴走支援し、生産性向上を実現します。



▲ コクーの事業概要

受賞ポイント

DX推進と女性活躍を軸に、DXコンサルティング事業やデジタルマーケティング事業など、社会課題を解決するDX人材サービスを展開。前職での経験から社員が日々挑戦・成長できる環境をつくり、社員同士が切磋琢磨できるような会社を創ろうと思い、起業。地域企業のDX推進支援モデルを構築し、労働力不足解消と企業の生産性向上に取り組んでいる点が評価された。

JVA審査委員会特別賞



KATAGIRI MOE

片桐 萌絵

とらでいっしゅ株式会社
代表取締役



「人々の生きる証を紡げる人になりたい」。生きることが効率的になった現代社会では、民俗芸能を始めとする地方の文化は存続の危機にあります。それでも民俗芸能は、変わらず美しく人々の心を動かし続けている。私はこの価値を次世代へ継承する仕組みをつくり、新しい文化と誇りを日本に生み出したいと思っています。

●PROFILE

[2004年生まれ]愛知県奥三河地方出身。広島大学総合科学部3年生。国指定重要無形民俗文化財「花祭(古戸地区)」の現役の担い手。広島大学在学中に20歳でとらでいっしゅ株式会社を創業し、女子大生民俗芸能オタクとして、等身大の地方創生を実践中。これまでに第21回キャンパスベンチャーグランプリ全国「経済産業大臣賞・ビジネス大賞」など数々のグランプリ受賞。

●座右の銘

さあ、スタート!潜在能力を過信していこう!

●会社所在地

〒739-0046 広島県東広島市鏡山2丁目313

●事業紹介

民俗芸能専門コンサルタントとして、地域の方々と一緒に、現代社会における民俗芸能の持続可能な運営方法を模索しています。

●創業年

2025年

●コメント

私たちは、地域文化の魅力若者目線で発信し、民俗芸能の担い手や地域のファンを増やす取り組みを展開しています。実践を通じて培った地域との信頼関係を基盤に、観光客や支援者が連携できる仕組みづくりを推進。地域文化を持続可能な方法で継承するためのネットワーク拡大やプログラム開発に注力し、全国の地域文化をつなぐ通訳者としての役割を強化しています。

会社の特徴

民俗芸能専門コンサルタントと共に模索する、地域文化の美しい継承の形

民俗芸能(=地域に根付く伝統的なお祭りや郷土芸能)を現代的なデザインやキャッチコピーで再構築し、SNS広告や集客までワンストップで支援する「MATSURI Branding」と、観光客も担い手として参加できる体験プログラム「お祭り魂育成塾」の2軸で、民俗芸能の保存・活性化を実践しています。



▲弊社作成のお祭りパンフレット

事業・サービスの強み

「また来るね」でつながる、人と地域のあたたかな循環

民俗芸能への参加をきっかけに、人と人が自然につながり、「また来るね」と言い合える関係性を育む地域コーディネートをしています。現場に深く入り込むことで生まれる信頼を基盤に、訪れる人が地域の一員になれる交流の場を創出。単なる観光では終わらない、継続的であたたかなコミュニティの循環を支えています。



▲「お祭り魂育成塾」参加者の様子

受賞ポイント

国指定重要無形民俗文化財「花祭」の担い手として、女人禁制を解除した経験から、民俗芸能を経営の仕組みで持続可能に継承する必要性を痛感し、広島大学在学中に起業。全国の祭りの多くが後継者不足等の課題を抱えており、その課題解決のために、自治体や保存団体への支援を通じて、地域文化エコシステムの構築を目指す姿勢が評価された。

JVA審査委員会特別賞



DEN MASASHIGE

田 真茂

株式会社ドクターズプライム
代表取締役



患者主体の医療ができないことにより、救えたはずの命が救えない構造上の課題に、救急医として強い危機感を抱きました。医療は常に患者の味方であるべきであり、そのためには医師の頑張りや正しく報われる仕組みが欠かせません。こうした構造を変えるため、医療を外側から動かす仕組みづくりを志し、起業しました。

●PROFILE

[1988年生まれ]聖路加国際病院の救命救急センターで医師として勤務後、株式会社ドクターズプライムでオンライン診療の立ち上げを経験。救急医療の現場で、救うことを頑張る医師が報われない評価制度や、情報格差により患者主体の医療が進まない構造を解決するため、2017年にドクターズプライムを創業。民主化された日本の医療クオリティを世界に解き放ち、生まれた国によって医療水準が変わらない世界をつくることを目指しています!

●座右の銘

ナンバーワンよりオンリーワン

●会社所在地

〒135-0064 東京都江東区青海1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー13階

●事業紹介

救急車を断らない医師紹介サービス(Work)と医療動画SNS(Academia)を運営し、蓄積した医師評価データで『自分らしく選べる医療』を実現します。

●創業年

2017年

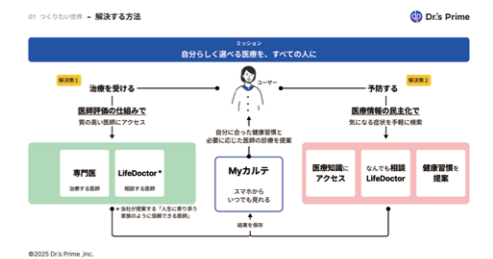
●コメント

救急医として培った洞察力と即断即決の行動力を強みに、医療の課題をビジネスの力で解決することに挑んできました。ドクターズプライムは、医師の診療・学習・相談データを可視化し、頑張る医師が正当に評価される仕組みをつくることで、医師・病院・患者がより良くなる医療を実現する企業です。実行力と構造改善への意志を武器に、医療の新しい当たり前をつくっていきます。

会社の特徴

自分らしく選べる医療をすべての人に

救急車を断らない医師紹介(Work)、医療動画SNS(Academia)、家族に医師がいるようなセカンドオピニオン(LifeDoctor)の3事業を展開しています。これらで得られる診療・知識・相談スキルデータを統合し、医師の評価と成長を支える仕組みをつくることで、より信頼できる医療体験を実現します。



▲自分らしく選べる医療とは

事業・サービスの強み

16万人の救急受け入れと、3万人の医師の学びを支える基盤

これまで16万人の救急患者を受け入れたWork事業と、3万人の医師の学びを支えるAcademiaを運営し、確かな実績を築いてきました。今後は三事業で得られる診療・学習・相談データを統合した独自の評価モデルと「まずやってみる」機動力を強みに、さらなる統合医療プラットフォームへの進化を目指します。



▲医師評価で患者視点の診療へ

受賞ポイント

自身の医師としての経験から、「医師の評価システム」や「患者と医師の間にある情報格差」、救急車の受け入れ拒否による「たらい回し」問題に疑問を抱き、医療の制度や評価の設計を通じてこれらの課題を解決する必要性を痛感し、起業。医師出身の強みを活かし、受け入れ医師へのインセンティブと病院・医師の相互評価制度を構築し、救急受入数を増加させ、病院経営を改善し、地域医療へ貢献している点が評価された。

JVA審査委員会特別賞



HIRAI EI

平井 瑛

株式会社estie
代表取締役



不動産デベロッパーで働いた際に海外と日本の不動産市場の透明性の差に危機感を抱き、この国の不動産情報基盤を整えたいという強い思いで起業しました。情報が分断されたままでは日本の都市も産業も最大限に力を発揮できません。データとテクノロジーで不動産の当たり前をつくり直し、未来の日本の競争力向上に挑み続けます。

●PROFILE

[1991年生まれ] 東京大学経済学部卒業後、三菱地所に入社し、欧米やアジアでの不動産投資と東京のオフィス事業を経験。2018年12月にestieを創業。日本最大級のオフィスビル情報データ分析基盤をはじめ、住宅や物流施設の分析基盤や不動産取引に必要な物件を管理する業務支援ツールなど計10サービスを開発および提供。M&AやAI技術への投資を推進し、弊社パーパスである「産業の真価を、さらに拓く。」の実現を目指す。

●座右の銘

我に才略無く我に奇無し、常に衆言を聴きて宜しきとるに従ふ

●会社所在地

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-2 東京ミッドタウン・イースト4F

●事業紹介

不動産事業者向けに商用不動産データ分析基盤「estie マーケット調査」など複数サービスを展開。また、不動産データとAIを活用し、戦略立案・業務改革を支援。

●創業年

2018年

●コメント

不動産は日本経済の根幹を支える巨大産業でありながら、情報の非対称性が大きな課題として残り続けています。私たちはこの構造に挑み、業界全体が公正かつ戦略的に意思決定できる未来をつくるべく、データインフラの構築に挑戦しています。不動産の可能性を解き放ち、日本経済の進化を支える存在を目指しています。

会社の特徴

データとテクノロジーの力で
商用不動産をアップデート

法人がビジネス目的で保有するオフィスや物流施設といった商用不動産領域では、アナログな業務が根強く残っており、私たちはデータを整備し、デジタルソリューションを提供しています。私たちのサービスを通じて最適な不動産取引を可能にし、商用不動産のポテンシャルを最大限に引き出します。



▲ 全社定例で開催した街歩き企画

事業・サービスの強み

不動産データ×AIで
業界のデジタルインフラを構築

estieは、「不動産取引」「不動産運営」「不動産データ」のそれぞれでデジタルソリューションを提供します。また、不動産領域における豊富なデータと専門知識をもとに、estieのプロダクトにAIを組み込み、利用体験の向上や業務効率化、新たな価値創造を実現します。



▲ 提供しているソリューション

受賞ポイント

前職の経験から、日本の不動産業界がデータ基盤の整備で遅れを取っていることを痛感し、不動産のデータ活用で将来性を感じたことから、起業。これまでの日本企業にない不動産データベースとAI技術を活用した業務支援サービスを展開している。日本の不動産業界で遅れをとっていたDXを革新的に推進している実績が評価された。

JVCA特別奨励賞



HIRAI SHOTA

平井 翔大

Letara株式会社
代表取締役 Co-CEO



大学で研究した成果を研究で終わらせるのではなく、社会実装したいという思いがありました。それと同時に、お世話になった「北海道」の経済に貢献したいという強い思いがあり、北海道大学発スタートアップ企業として起業するに至りました。北海道から宇宙を目指し、道内を代表する魅力的な企業を目指します。

●PROFILE

[1992年生まれ] 北海道大学大学院工学研究院修士課程修了。一度本州の民間企業へ就職するも、退職し北海道でハイブリッドロケット開発に従事。大学の技術を事業化することを目的に、2020年6月にLetara株式会社を設立。2020年10月に北海道大学大学院機械宇宙工学専攻の博士課程進学。博士学生として知財化した技術をLetara株式会社へ技術移転し、2023年2月に初回資金調達実施。

●座右の銘

足踏みしても靴の底は減る(高橋歩)
夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に夢なき者に成功なし。(吉田松陰)

●会社所在地

〒063-0829 北海道札幌市西区発寒9条10丁目2-10

●事業紹介

宇宙機用推進機の開発及び製造。既存エンジンが抱えるトレードオフを解決し、安全・安価・高推力のエンジンを開発し、人や物が自由に宇宙空間を移動できる未来を創造する。

●創業年

2020年

●コメント

ハイブリッド化学推進系の研究・開発に取り組み、北海道から世界の宇宙産業に挑む創業者です。「0→1」を切り拓く力、未知を吸収する学習力、リスクを取って実行する推進力を備え、大学院で培った専門性と現場の開発経験を強みに事業を成長させてきました。エンジニアリングと経営をつなぎ、中間の力を最大化し、難題にも粘り強く向き合う実行力が強みです。挑戦を恐れず、新しい価値を生み出し続けます。

会社の特徴

北大発スタートアップ・国際色豊かな
プロフェッショナル集団で世界発の技術開発に挑む

北海道大学で研究開発に従事し、AIAA(米国航空宇宙学会)より最優秀論文賞を受賞した、日本人と米国人2人の代表取締役Co-CEOが、北海道から宇宙を目指すために、20ヶ国以上の国から優秀な人材を集め、全体の3分の1以上が外国籍であるグローバル企業です。廃校を研究開発拠点にする等地域貢献もしています。

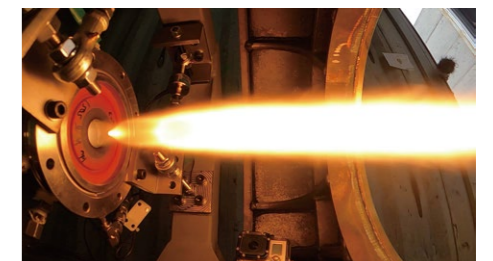


▲ 国際色豊かなグローバル企業

事業・サービスの強み

安全かつ高推力な
ハイブリッド化学推進系

燃料に固体(プラスチック)、酸化剤に液体を利用したハイブリッド化学推進系を開発しており、従来までの危険な液体エンジンの毒性、可燃性、爆発性を克服し、安全性と高推力を両立するハイブリッド推進を開発しています。宇宙空間において、人工衛星が軌道変換する等の用途に利用されます。



▲ ハイブリッド化学推進の様子

受賞ポイント

プラスチックを燃料にした宇宙機用ハイブリッド推進機を開発・製造する北海道大学発スタートアップ。既存エンジンが抱える問題を解決することで開発した、安全・安価・高推力のエンジンにより、24時間以内に宇宙のどこへでも行ける未来を目指す。多様なバックグラウンドを持つチームで、大胆な挑戦を実現しようとする姿勢が評価された。



河野 純一郎

KONO JUNICHIRO

ANRI

General Partner



●PROFILE

2002年に株式会社ジャフコ(現ジャフコグループ株式会社)入社。2008年伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社に転じ、以来11年にわたって国内スタートアップへの投資業務に従事。2019年ANRIへ参画。明治大学政治経済学部卒業。

●会社所在地

〒106-6115 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー15階

●活動概要

主にITセクターのシード/アーリーステージのスタートアップを出資対象に、事業戦略、ファイナンスでの支援を中心に実施しています。社会課題解決と経済性が交差する事業領域で挑戦する起業家を、大規模な初回投資とその後の一貫した姿勢での継続的な追加投資でサポートすることに強みを持ちます。

●代表的な支援先企業

UPSIDER、IOX、ファンズ、コノセル、令和トラベル、モノクローム、SHE、ナレッジワーク、五常・アンド・カンパニー、AgeWellJapan他

受賞ポイント

株式会社UPSIDERにシードラウンドからリード投資家として投資。その後も継続的に支援し、同社のEXITに大きく貢献。キャピタリストとして、長い経験を有しており、同社以外にも複数社のIPOやM&Aをサポートしている。様々な領域にまたがり、顕著な実績を上げていることが評価された。



水本 尚宏

MIZUMOTO TAKAHIRO

アント・イノベーションズ株式会社

代表取締役社長



東京大学協創プラットフォーム開発株式会社

フェロー



●PROFILE

京都大学院(技術経営)修了。弁理士試験合格後、証券系VCにて投資を開始。リーマン後に昭和シェルで新規事業を主導し、2017年より東大IPCへ参画し、1stRoundと256億円ファンドを立ち上げ、ITから宇宙までテクノロジー投資を行う。本年11月にPE投資会社とアント・イノベーションズを創業して代表に就任。2026年Forbes"日本で最も影響力のあるベンチャーキャピタリスト"の一人に選出。

●会社所在地

アント・イノベーションズ株式会社:〒100-0004 東京都千代田区大手町1丁目9-2グランキューブ3階
東京大学協創プラットフォーム開発株式会社:〒113-8485 東京都文京区本郷 7-3-1

●活動概要

経済発展に貢献したいという思いからテクノロジーVCを目指して工学系に進学。研究の傍ら、知財を学ぶ。投資と事業開発の経験を積んだ後、創業メンバーとして東大IPCの土台を構築。投資はDeeptechやカーブアウトに注力し、高打率でEXITを実現。現在は新VCを設立、EXITの問題解消に取り組む。

●代表的な支援先企業

Synspective、アクセルスペース、アストロスケール、Teleixistance、Signate、ロボトラック、Onedot、Where、Citadel AI、ARAV、Orbital Laserなど

受賞ポイント

2024年12月に上場した株式会社Synspectiveにシードラウンドから出資。東大IPCの設立メンバーとして、大学横断のスタートアップ支援「1stRound」や企業の連携を促す「AOIファンド」の立上など、スタートアップやイノベーションを生む仕組みを創設している点が評価された。

中小機構は、経済産業省所管の中小企業政策全般にわたる総合的な実施機関として、成長ステージに合わせた多様な支援で中小企業の成長を応援しています。

中小機構の主な創業・ベンチャー支援事業

創業支援等事業計画機能強化事業

起業家教育事業、創業機運醸成イベント(TIP*S)を通じ、創業に関心が低い者への創業の裾野の拡大や創業関心者への意識啓発・情報提供等を行い、創業に至るまでの各段階における課題に対応します。また、機構の創業支援ノウハウの提供により、認定自治体における担当者の支援スキル向上や支援ノウハウの蓄積を図り、創業支援等事業計画の実施機能の強化に貢献します。



インキュベーション

全国29か所のインキュベーション施設を運営しています。オフィス・ラボ・工場などニーズに合わせた事業スペースを提供する「ハード支援」と、インキュベーションマネージャー(IM)と呼ばれる常駐の専門家が成長・事業化を支援する「ソフト支援」の両面で、新しいビジネスへの挑戦を応援します。



FASTAR

IPOやM&A等を視野に、成長志向のスタートアップを対象としたアクセラレーションプログラムです。専門家(専任パートナー)による約1年間の伴走支援型メンタリングによって事業計画をブラッシュアップし、VC等からの資金調達や大企業との事業提携に向けたマッチングを促進することで、成長加速化をサポートします。



スタートアップ挑戦支援事業

スタートアップのあらゆるフェーズの課題に対し、オンラインで全国どこからでも無料で相談可能です。資金調達・資本政策に関する相談や事業の大幅見直し、新たな経営戦略に関する相談等に経験豊富な専門家がアドバイスをを行います。



J-GoodTech(ジェグテック)

日本の中小企業と国内大手企業・海外企業をつなぐビジネスマッチングサイトです。国内外の企業へ情報を発信し、最適なビジネスパートナーを見つけ、製品開発や新規取引に結びつけられるように登録企業を支援します。



ファンド / ベンチャーデット債務保証

ベンチャーキャピタルや投資会社が組成するファンドへの出資(LP出資)を通じ、ベンチャー企業やさらなる成長を目指す中小企業を支援します。また、事業計画を認定されたベンチャー企業が、経済産業大臣に指定された金融機関等から行う一定の借入に対し、機構が借入額の50%を保証することで、事業化・収益化までの間が長く、かつ多額の資金を必要とするディープテックベンチャーの資金調達を後押しします。



その他の中小機構の支援メニュー

経営相談

中小企業・小規模事業者の経営に関する様々な課題やお悩みに、各分野の専門家が無料で何度でも対面・電話・メールとご希望の方法でお応えします。



ハンズオン支援(専門家派遣)

経営課題の解決に取り組む中小企業に専門家を派遣し、アドバイスを実施します。様々な分野での資格や経験を持つ3,000名以上の外部専門家を登録しており、適切な専門家を派遣し、中小企業者の方々に主体的に取り組んでいただくことで、支援終了後も自立的・持続的に成長可能な仕組み作りをサポートします。



海外展開支援

海外展開を目指す中小企業を、初期の計画段階から進出後のフォローアップまで、ハンズオン支援や海外CEO商談会をはじめとした幅広い支援メニューでサポートします。



共済制度

小規模企業の経営者や個人事業主のための退職金制度である「小規模企業共済」と、取引先の倒産による連鎖倒産を防ぐための「経営セーフティ共済」(中小企業倒産防止共済)を運営しています。



J-Net21

中小企業向けのイベント・セミナー、助成金など経営に役立つ情報満載のポータルサイトです。



eコマース活用支援

ECに取り組む中小企業者の方々に對して、国内に加え、海外向け(越境EC)のニーズに対応したオンライン講座の配信やセミナー・マッチングイベントの開催、専門家によるアドバイスを提供します。



事業承継

事業承継に関する情報提供や各種ツール提供をはじめ、講習会や専門家による相談対応等、中小企業の円滑な事業承継に向けて様々なサポートを行っています。



EY新日本有限責任監査法人

EY新日本有限責任監査法人は、EYの日本におけるメンバーファームであり、監査および保証業務を中心に、アドバイザーサービスなどを提供しています。詳しくは ey.com/ja_jp/people/ey-shinnihon-llc をご覧ください。



有限責任 あずさ監査法人

KPMG/あずさ監査法人は、監査やアドバイザーなどの専門性の高いサービスの提供を通じて、経済社会に信頼をもたらす、企業や社会の変革に向けた取組みを支援しています。IPOの分野においては、豊富な経験を持つ専門家を配置し、海外ネットワークを含めた情報・知識の蓄積を行うとともに、一元的なサービスを提供しています。また、社会価値が創造されると考えられる新しい革新的な技術やアイデアを有する企業及び起業家を発掘・育成・支援することを目的としてインキュベーション部を設置し、大学発ベンチャー企業及び産学連携組織を中心にインキュベーション支援活動を行っています。さらにKPMGジャパンの活動としてプライベートエンタープライズセクターにおいてグローバルで戦えるスタートアップの発掘・育成支援を行っています。



INNOVATION LEADERS SUMMIT (運営:株式会社プロジェクトニッポン)

大手企業のアセットとスタートアップのアイデアやテクノロジーをマッチングし、グローバルイノベーションを生み出すことを目的に経済産業省後援のもと発足。2024年12月に開催した第12回ILSは、リアルとオンラインのハイブリッドイベントとして開催し、2万名以上が参加。メインの大手企業とスタートアップとの新事業創出プログラム「パワーマッチング」は3,249件の商談が行われ、そのうち3件に1件が協業案件となる高精度なマッチングを実現。アジア最大級のオープンイノベーションカンファレンス。



日刊工業新聞社

日本のモノづくりを見つめ、伝え続けて一世紀。創業の理念「工業立国」「技術立国」を胸に一貫して日本の産業界とともに歩み、日本の科学技術の発展や産業競争力の強化、中小企業振興に努めてまいりました。新聞を核に産業総合情報機関としての機能をさらに高め、創業・ベンチャー促進をはじめ、活力と創造力あふれる次世代の産業社会づくりに貢献していきます。



アントレサロン (運営:銀座セカンドライフ株式会社)

アントレサロンは、ベンチャー企業向けにレンタルオフィス・コワーキングスペースを提供しています。首都圏に19施設あり、16,000社が会員登録しています。会員様は、初期費用0円・月額3,800円(税別)で、事務所の登記場所やワークスペースを確保することができます。全ての拠点のデスクや会議室が利用でき、専門家が常駐しているため経営相談やセミナーを随時受けられます。行政の創業支援施設として認定されているため、入居企業は公的な創業支援を受けられ、法人設立時の登録免許税が半額、補助金の増額、融資の面で優遇されます。スタートアップ企業にお勧めな施設です。

月刊事業構想

月刊事業構想

月刊事業構想は、事業構想大学院大学出版部が発行する雑誌&オンラインメディア。新事業開発、イノベーション、地方創生を主テーマとしています。地方自治体首長と幹部に圧倒的な閲読率があるほか、企業の新規事業開発責任者が読者の過半を占めます。特に、企業トップ、起業家、政治家、官僚といったキーパーソンの構想と具体的事例に焦点を当てた記事が充実しています。また、デザイナー、アスリート、芸術家、クリエイターなど異分野の構想家もとりあげ、多様な視点を提供しています。イノベーションへのアイデア、アライアンス・パートナーの開発などの情報源となっています。



一人でも多くの人と一緒に、1社でも多くの公開会社を育てる

特定非営利活動法人インデペンデンツクラブ

一人でも多くの人と一緒に、1社でも多くの公開会社を育てる」という理念のもと、起業家とその成長を支える人々をつなぎ、ビジョン実現に必要なリソースが集まる場を提供しています。情熱を持つ起業家、その挑戦を支えたい人がともに未来を創ることを目指しています。

【活動内容】

1. イベント開催(事業計画発表会)の企画運営(累計発表者数 1,584社)
2. 記事コンテンツ発信(起業家インタビュー、コラム、対談記事等)
3. 月刊誌「THE INDEPENDENTS」発行
4. 地方スタートアップ・支援団体の紹介イベント

イノベーションズアイ(運営:イノベーションズアイ株式会社)

イノベーションズアイは、企業やビジネスパーソンに対して、最新のビジネス情報、業界トレンド、イノベーション事例、商品・サービス情報などを提供するBtoB向けビジネスメディアプラットフォームです。以下の3つを柱に、企業の情報発信とビジネスチャンスの創出を支援しています。

1. 1万5,000を超える会員が登録するメディアを活用した「認知拡大と見込み客づくり」
 2. 2.80を超える支援機関と連携したビジネスサポートによる「経営課題の解決」
 3. 経営者・専門家の交流など、ビジネスコミュニティでの「信頼関係の構築と共創」
- 情報発信と出会いの場を通じて、貴社のビジネスの成長を後押しいたします。



STARTUPS SELECTION®

この「スタートアップセレクション」は、新進気鋭なスタートアップ起業家やベンチャー企業経営者にスポットライトを当てるビジネス番組です。2021年に東京を中小とする首都圏から放送をスタートし、今では瀬戸内(中四国)、北海道、東北、中部、沖縄、九州まで、全国へと拡大しています。地元放送局とradiko、番組公式YouTubeでもアーカイブ配信しています。起業家たちの本音や、深掘りした事業内容などを、ざっくばらんな形でみなさまへお届けしてまいります。

<p>中小企業庁 中小企業庁</p>	<p>国立研究開発法人 科学技術振興機構 国立研究開発法人科学技術振興機構</p>	<p>産総研 国立研究開発法人産業技術総合研究所</p>	<p>NEDO 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構</p>
<p>IPA Better Life with IT 独立行政法人情報処理推進機構</p>	<p>JFC 日本政策金融公庫 株式会社日本政策金融公庫</p>	<p>DBJ 日本政策投資銀行 株式会社日本政策投資銀行</p>	<p>人を思う。未来を思う。 商工中金 株式会社商工組合中央金庫</p>
<p>日本商工会議所 The Japan Chamber of Commerce and Industry 日本商工会議所</p>	<p>全国商工会連合会 Central Federation of Societies of Commerce and Industry 全国商工会連合会</p>	<p>全国中小企業団体中央会</p>	<p>VEC Venture Enterprise Center 一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター</p>
<p>JNB Japan New Business Conference Association 公益社団法人日本ニュービジネス協議会連合会</p>	<p>JILC 一般財団法人 日本立地センター Japan Industrial Location Center 一般財団法人日本立地センター</p>	<p>福岡市 FUKUOKA CITY 福岡市</p>	<p>全国地方新聞社連合会 全国地方新聞社連合会</p>
<p>JASVE 一般社団法人日本ベンチャー学会 The Japan Academic Society for Ventures and Entrepreneurs 一般社団法人日本ベンチャー学会</p>	<p>JVCA Japan Venture Capital Association 一般社団法人日本ベンチャーキャピタル協会</p>	<p>JOIC オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会</p>	<p>Intercity Innovation Institute 一般社団法人交通都市型まちづくり研究所</p>
<p>ISCO 一般財団法人 沖縄ITイノベーション戦略センター</p>			